

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	保育士科(夜間主コース)				
実施方法	① 通学 昼間 夜間・土日		② 通信 スクーリング(回数 回)		
指定講座番号(15桁)	1110058	—	2420011	—	5
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 令和2年4月1日	過去一年の講座実績 令和9年9月30日まで	入講者数(14人)	修了者数(24人)	
訓練期間	24ヶ月		総訓練時間	1920時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 (保育士) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 () 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		一般社団法人全国保育士養成協議会			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		指定保育士養成施設の卒業			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		保育園等の児童福祉施設における、保育士、児童指導員としての専門職			
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)			時間	使用教材名	
43 科目			1920	なし	
教科(カリキュラム)	時間	教科(カリキュラム)	時間	教科(カリキュラム)	時間
保育原理	15時間	子ども家庭福祉	15時間	保育実習Ⅰ(保育所)	40時間
教育原理	15時間	子ども家庭支援論	15時間	保育実習指導Ⅰ	15時間
社会福祉	15時間	子ども家庭支援の心理学	15時間	図工	30時間
社会的養護Ⅰ	15時間	幼児体育指導法	15時間	音楽	30時間
保育者論	15時間	子どもの食と栄養	15時間	カウンセリング演習	15時間
保育の心理学	15時間	保育内容総論	15時間	英会話	30時間
子どもの保健	15時間	保育内容演習	45時間	情報リテラシー	15時間
保育の計画と評価	15時間	保育内容の理解と方法	30時間	総合福祉技術	45時間
乳児保育Ⅰ	15時間	乳児保育Ⅱ	15時間	国際教育(集中授業)	15時間
カウンセリング理論	15時間	子どもの健康と安全	15時間	選択ゼミ	60時間
子どもの理解と援助	15時間	社会的養護Ⅱ	15時間	保育実習Ⅱ/Ⅲ	40時間
子どもの食と栄養	15時間	子育て支援	15時間	保育実習指導Ⅱ/Ⅲ	15時間
保育内容演習	30時間	保育実習Ⅰ(保育所以外)	40時間	こども体操教室	30時間
保育内容の理解と方法	30時間	保育実習指導Ⅰ	15時間		
障害児保育	30時間	保育実践演習	30時間		
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等		なし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		高等学校を卒業していること			
③その他		入学試験において、資格取得と就職への意欲と適性があるもの			

〔特記事項〕

令和7年入学生 開講期間(予定): 令和7年4月1日～令和9年3月31日

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況					
① 前年度の修了者数	24	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	31	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	24	人	受験率(③/②)	77.4	%
④ ③のうち合格者数	24	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	23	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	1	人			
※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。					
※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。					
(2) 受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数			人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員		人		
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人		
	4 非就業		人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ		人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる		人		
	4 円滑な転職に役立つ		人		
	5 趣味・教養に役立つ		人		
	6 その他の効果		人		
	7 特に効果はない		人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる		人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる		人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる		人		
	4 趣味・教養に役立つ		人		
	5 その他の効果		人		
	6 特に効果はない		人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した		人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない		人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足		人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足		人		
	3 どちらとも言えない		人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		
(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)					
修了者の24名全員が就職をした。全員保育士の資格を活かした就職(24名)、2名の在職者は修了時に処遇改善があった。					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		各科目での毎回の確認テストと定期試験(筆記)、実習施設からの実習評価			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法														
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験・進級試験等の具体的基準)	出席率70%以上、試験合格率得点率60%以上で合格、補習・追試は認める。													
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	ペーパーテスト及び演習。													
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率70%以上、試験合格率得点率60%以上で合格、補習・追試は認める。													
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たすこと。													
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法														
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	担任及び専任講師が試験・実習等の結果に基づき、個別面談・指導を実施。													
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 <small>(例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)</small>	担任及び専任講師が試験・実習等の結果に基づき、個別面談・指導を実施。就職は本校のキャリアセンター職員と担任が連携し、就職指導を実施している。求人情報は学内及び個人の携帯端末からいつでも閲覧可能。													
8. その他の事項														
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	学校法人東京滋慶学園 (代表者名: 理事長 中村道雄)													
住所及び連絡先	東京都大田区大森北1-18-2 TEL 03-3763-221													
施設名称及び施設長名	埼玉福祉保育医療製菓調理専門学校 (施設長: 学校長 青木猛正)													
住所及び連絡先	埼玉県さいたま市大宮区仲町3-88-2 TEL 048-649-2331													
苦情受付者	氏名 北村 健明 所属 教務部	事務担当者	氏名 前川 雄大 所属 学生サービスセンター											
連絡先	TEL 048-649-2331	連絡先	TEL 048-649-2331											
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		2,372,000 円											
支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		50,000 円											
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	<table style="margin: auto;"> <tr><td>第1期</td><td style="text-align: right;">685,000 円</td></tr> <tr><td>第2期</td><td style="text-align: right;">465,000 円</td></tr> <tr><td>第3期</td><td style="text-align: right;">707,000 円</td></tr> <tr><td>第4期</td><td style="text-align: right;">465,000 円</td></tr> <tr><td>第5期</td><td style="text-align: right;">0 円</td></tr> <tr><td>第6期</td><td style="text-align: right;">0 円</td></tr> </table> (うち、必須教材費 円)	第1期	685,000 円	第2期	465,000 円	第3期	707,000 円	第4期	465,000 円	第5期	0 円	第6期	0 円
第1期	685,000 円													
第2期	465,000 円													
第3期	707,000 円													
第4期	465,000 円													
第5期	0 円													
第6期	0 円													
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		160,580円											
	① 任意の教材費(税込額)		円											
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		- 円											
	③ 施設維持費(税込額)		- 円											
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		293,302 円											
	3. 総額 (1+2) (税込額)		2,532,580 円											